

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	公営住宅基本計画策定事業			決算書頁	276
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	09 公営住宅を適正・効率的に管理します				
所管部・室・課	都市政策部	住宅政策室	作成者	主幹 中塚 直美	

## 2. 事業の目的

社会情勢等のニーズに応じた公営住宅の管理及び供給を実施する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	7,489		7,489	一般財源	758		758
内 事業費	7,489		7,489	国県支出金	6,731		6,731
内 職員人件費				地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)				特定財源(その他)			
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	公営住宅基本計画策定事業	細事業事業費(千円)	7,489
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) 28年度の取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に策定した川西市公営住宅基本計画の改訂に向けた基礎調査を行った。</li> <li>年次的・計画的な改修、建替え、集約、廃止の基礎調査となる、市営住宅7団地、改良住宅3団地、再開発住宅3団地の敷地、建築物、給排水設備の劣化調査を行った。</li> </ul>		
			
	植込みのコンクリート囲いの破損	手すり塗装剥離・発錆(共用階段)	
			
	保温材の脱落(ポンプ室)	外装仕上げの剥離(廊下天井)	

・調査団地一覧表

種別	団地名	住棟	戸数	建設年度	構造
市営住宅	小戸		40	S47 (1972)	RC5階建
	新生	I期	15	S52 (1977)	RC5階建
		II期	15	S62 (1987)	RC5階建
	栄花	J棟	36	H01 (1989)	RC5階建
	加茂桃源	1号棟	52	H05 (1993)	RC7階建
		2号棟	38	H06 (1994)	RC7階建
		3号棟	66	H02 (1990)	RC7階建
		4号棟	64	H06 (1994)	RC7階建
出在家		16	H04 (1992)	RC4階建	
滝山		44	H04 (1992)	RC8階建	
改良住宅	花屋敷	E棟	30	S53 (1978)	RC5階建
		F棟	24	S56 (1981)	RC4階建
	栄町	H棟	28	S57 (1982)	RC5階建
	日高	A棟	18	H08 (1996)	RC3階建
		B1棟	34	H08 (1996)	RC5階建
		B2棟	8	H15 (2003)	RC5階建
再開発住宅	栄南	1号棟	84	S57 (1982)	SRC11階建
		2号棟	45	S58 (1983)	RC7階建
	栄花	K棟	32	H04 (1992)	RC4階建

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>現状の確認や劣化調査を行い、公営住宅基本計画を現在の社会情勢等のニーズに合ったものに改訂するための基礎調査を行うことができた。</p> <p>劣化調査では、実際に継続使用中高層団地全ての現場調査を行い、敷地、建築物、給排水設備の非常に多岐に渡る項目の調査を実施することができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>建物の老朽化や入居者の高齢化が進んでおり、安全性や防災性を向上させる対策を講じる必要がある。</p> <p>また、高齢化に伴う団地の自治機能の低下等により共用部分等の自主管理が難しくなっており、管理の在り方について新たな手法の検討が必要である。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>平成28年度に行った基礎調査をもとに、年次的、計画的な改修、建替、集約、廃止等の方針を策定し、財政負担の縮減・平準化や社会情勢等のニーズにあった維持管理を可能とする計画を策定する。</p> <p>団地運営に係る先進的な事例の情報収集を行い、効率的かつ持続可能な管理手法の検討を行う。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	市営住宅維持管理事業			決算書頁	276
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	09 公営住宅を適正・効率的に管理します				
所管部・室・課	都市政策部	住宅政策室	作成者	主幹 中塚 直美	

## 2. 事業の目的

公的住宅等の供給と適正な管理を実現する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
		総事業費	409,795	448,319		△ 38,524	一般財源	113,378
内訳	事業費	67,687	74,149	△ 6,462	国県支出金		4,590	△ 4,590
	職員人件費	39,323	34,205	5,118	地方債			
	公債費	302,785	339,965	△ 37,180	特定財源(都市計画税)			
参考	職員数(人)	4	3	1	特定財源(その他)	296,417	295,890	527
	再任用職員数(人)	1	2	△ 1				

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	市営住宅維持管理事業	細事業事業費(千円)	65,258																																																
(1) 参画と協働の主な手法(実績)																																																			
(2) 28年度の取組と成果	<p>①入居募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回入居募集を実施し、適正な入居審査を行った上で、低廉な公的住宅を供給できた。</li> <li>・借上公営住宅の廃止や花屋敷団地建替えに伴う住替え用住戸確保のため、募集戸数が減少する中で、シルバーハウジング・車いす対応住宅を計3戸公募し、生活要配慮者に向けた住宅供給をすることができた。</li> </ul> <p>○応募状況 (28年度内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集戸数</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>応募世帯</td> <td>168</td> <td>162</td> <td>170</td> <td>147</td> <td>67</td> <td>34</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>当選倍率</td> <td>6.2</td> <td>6.2</td> <td>6.3</td> <td>7.4</td> <td>7.4</td> <td>6.0</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や中度以上の障がい者、単親家庭、低額所得者等、特に生活の安定を図る必要があると考えられる世帯を対象とする優先枠を2戸確保することができた。</li> </ul> <p>○優先枠設定状況 (28年度内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優先枠戸</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>②維持管理(設備保守・点検・修繕)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽・高架水槽の清掃、消防用設備保守管理等の定期的な設備保守を計画的に実施できた。</li> <li>・漏水等の緊急修繕にも迅速に対応し、配管の部分修繕等、処理することができた。</li> </ul>				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1回	第2回	募集戸数	27	26	27	20	9	5	4	応募世帯	168	162	170	147	67	34	33	当選倍率	6.2	6.2	6.3	7.4	7.4	6.0	8.0		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1回	第2回	優先枠戸	8	5	3	3	2	1	1
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1回	第2回																																												
募集戸数	27	26	27	20	9	5	4																																												
応募世帯	168	162	170	147	67	34	33																																												
当選倍率	6.2	6.2	6.3	7.4	7.4	6.0	8.0																																												
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1回	第2回																																												
優先枠戸	8	5	3	3	2	1	1																																												

<細事業2>	市営住宅使用料収納事業	細事業事業費(千円)	2,429						
(1) 参画と協働の主な手法(実績)									
(2) 28年度の実績と成果									
① 収納状況及び収納率									
・ 納期限前後の電話での納付呼びかけや滞納者への各戸訪問、弁護士への委託を利用した示談交渉などを強化し、収納率を大幅に上昇させることができた。									
○ 収納率 (単位: %)		○ 収納状況(平成28年度) (単位: 円)							
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		調定額	収入済額	収入未済額
現年度分	91.80	91.74	92.70	93.48	96.74	現年度分	298,565,381	288,840,367	9,725,014
滞納繰越分	8.30	7.40	6.70	4.44	8.53	滞納繰越分	162,603,131	13,868,479	148,734,652
計	66.50	64.30	63.20	62.88	65.64	計	461,168,512	302,708,846	158,459,666
② 法的手続									
・ 居所不明等を伴う高額滞納者については、建物明渡訴訟を行い、明け渡しを実現した。									
訴訟	3件								
判決確定	2件								
強制執行	1件								
③ 口座振替制度の推奨									
・ 安定的な収納確保のため、窓口や新規入居者説明会で住宅使用料及び駐車場使用料の口座振替制度利用を推奨し、口座振替利用率を上昇させることができた。									
○ 口座振替状況 (単位: %)									
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
住宅使用料	61.55	61.68	62.42	63.06	63.23				
駐車場使用料	48.21	48.15	48.02	48.33	50.71				

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○	市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。		<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>空き家募集においては、生活要配慮者への住戸を3戸供給する等、総募集戸数が少なながらも社会的ニーズにあった運営ができていると考えられる。修繕においては、緊急対応においては、迅速に対応することができた。</p> <p>使用料の収納においては、各戸訪問や口座振替利用の奨励、弁護士への委託を利用した示談交渉の強化により、合計で2.76ポイント収納率を上昇させることができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○						
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。							
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>市営住宅の老朽化に伴い、給排水設備等の不具合で緊急対応が迫られる事例が増えてきており、建物の機能性・安全性の低下が生じている。</p> <p>一部で高齢化に伴う団地の自治機能の低下により、共有部分の自主管理等が困難になっており、その管理形態について、新手法の検討が必要である。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>現在改訂中である公営住宅基本計画に基づいて計画的な修繕を実施し、効率的かつ適正に市営住宅の維持管理を行う。</p> <p>共有部分の管理の在り方については、先進的な事例を情報収集し、持続可能な管理手法を検討する。</p> <p>また、使用料の収納については、各戸訪問における効率的な職員体制の構築や、訴訟・支払督促等の法的手段等の検討を行い、さらなる収納率の上昇をめざす。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	花屋敷団地建替事業		決算書頁	278
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	09 公営住宅を適正・効率的に管理します			
所管部・室・課	都市政策部	住宅政策室	作成者	主幹 飯田 勸

## 2. 事業の目的

花屋敷団地A・B・C棟の建替えと絹延団地1・2号棟の集約

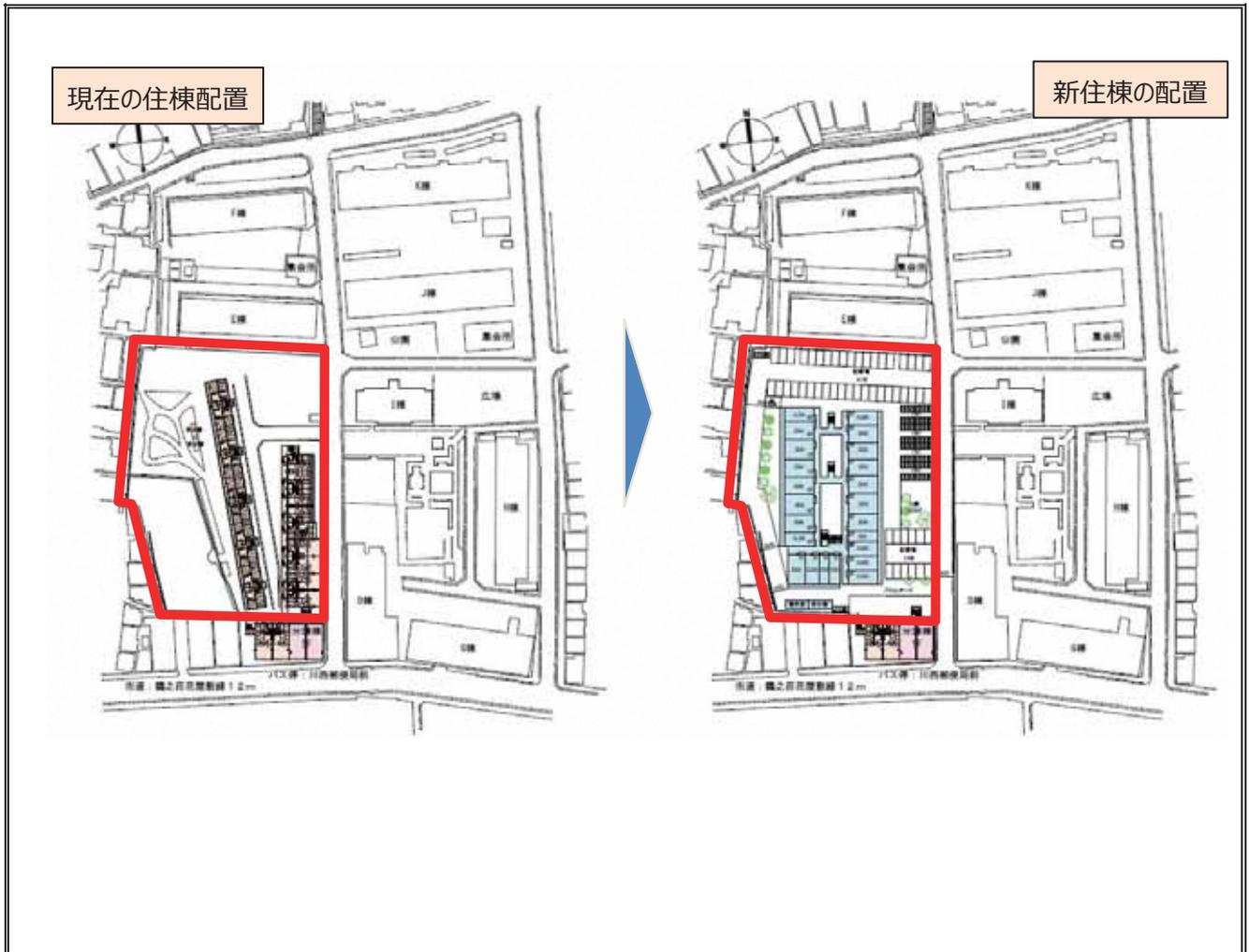
## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	30,828	685,655	△ 654,827	一般財源	29,185	4,776	24,409
内 事業費	13,286	685,655	△ 672,369	国県支出金	1,643	53,879	△ 52,236
内 職員人件費	17,542		17,542	地方債		627,000	△ 627,000
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)	2		2	特定財源(その他)			
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	花屋敷団地建替事業	細事業事業費(千円)	13,286																								
(1) 参画と協働の主な手法(実績)																											
(2) 28年度の取組と成果	<p>花屋敷団地及び絹延団地の建替・集約にともなって、新たに建設する団地ではなく他の市営住宅への住替えや退去を希望した入居者に対して、入居先や転居時期等の調整を行うとともに、移転補償費を支給した。</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>棟名</th> <th>住替</th> <th>退去</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">花屋敷団地</td> <td>A棟</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>C棟</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>絹延団地</td> <td>1号棟</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>9</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			団地名	棟名	住替	退去	計	花屋敷団地	A棟	6	1	7	C棟	2		2	絹延団地	1号棟	1		1	計		9	1	10
団地名	棟名	住替	退去	計																							
花屋敷団地	A棟	6	1	7																							
	C棟	2		2																							
絹延団地	1号棟	1		1																							
計		9	1	10																							
	<p>あわせて、花屋敷団地において営業継続を希望している3店舗についての物件調査を実施するとともに、移転登記漏れとなっている花屋敷1丁目488の土地について、相続人調査を実施した。</p> <p>また、平成26年度に作成した花屋敷団地建替事業計画について、PFI導入可能性について再検討するための業務委託を行った。</p>																										



### 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		28年度の事業の達成状況	
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		<p>新たに建設する住宅ではなく、他の市営住宅への住替えを希望する入居者のうち、平成28年度中の住替えを希望する入居者に対しては、適切な対応を行うことで、全員の住替えを完了した。</p> <p>事業手法については、定性的・定量的な側面評価と民間事業者の意向把握等からPFI導入可能性の検討を行った。</p>	
市民の利便性や事業の効率性が向上した。			
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○		
課題と改善について		29年度以降における具体的な方向性について	
<p>平成28年度に実施したPFI導入可能性の検討結果を踏まえ、早急に事業手法をPFI方式と決定する必要がある。</p> <p>また、決定した事業手法により円滑に事業実施ができるよう、入居者、周辺住民、国、県との調整や説明を行う必要がある。</p>		<p>建替事業をPFI方式により実施するにあたって必要となる事務等を整理し、速やかに着手する。</p> <p>また、入居者や周辺住民の負担等を可能な限り少なくするため、調整や説明を充分に行ったうえで、諸条件の整理をし、PFI事業者の選定を行う。</p>	
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>			

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	ふるさと団地再生事業		決算書頁	274
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	10 ふるさと団地の再生を推進します			
所管部・室・課	都市政策部 住宅政策室	作成者	主幹 飯田 勲	

## 2. 事業の目的

『ふるさと団地再生』への具体的方策を検討する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	41,612	55,147	△ 13,535	一般財源	30,454	17,620	12,834
内 事業費	24,070	37,625	△ 13,555	国県支出金	11,158	37,527	△ 26,369
内 職員人件費	17,542	17,522	20	地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)			
職員数(人)	2	2					
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	ふるさと団地再生事業	細事業事業費(千円)	24,070
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) 28年度の取組と成果	<p>①ふるさと団地再生セミナー</p> <p>(ア)「ふるさと団地再生の手引き 手引き編」の紹介 平成27年度に作成した、3団地におけるモデルプロジェクトを整理し、川西市内の他団体が参考にすることができる「ふるさと団地再生の手引き」を紹介した。</p> <p>(イ) ふるさと団地再生モデルプロジェクトの取組み報告および意見交換会 ・大和自治会:「地域住民の居場所づくり」 空きスペースや空き地を活用して多世代交流・居場所づくりの取組みを行い、管理・運営スキームの検討を行った。「ニコニコプロジェクト」として、商店と連携し、空きスペースを有効活用した「25cafe」が定着している。 ・多田グリーンハイツ自治会:「高齢者のお出かけ支援」 バス利用不便エリアに住む住民が気軽に店舗などへ出かけられるような交通システムについて、自治会が主体となり本格運行を行った。バス停から遠く交通不自由な高齢者の買い物支援する「ボランティア輸送」として、車両をリースしてスーパーまでの送迎を実施している。 ・清和台自治会:「多世代交流×防犯のウォーキング」 世代交流のきっかけづくりと、その後の発展的な取組みの足がかりを作ることを目的に「地域みんなで防犯パトロールプロジェクト」を実施し、リーダーミーティングでの意見交換等を踏まえ、利用者を増やす取組みを行っている。</p> <p>(ウ) 兵庫県の取組み報告 兵庫県住宅政策課より、「兵庫県ニュータウン再生ガイドライン」に関する報告</p>		



【団地再生セミナー】

②親元近居助成制度（地方創生先行事業交付金対象）

（ア）申込期間：6月1日（水）～9月30日（金）

（イ）助成概要：要件を満たした子育て世帯に対し、登記に要した費用（司法書士等に支払った費用）の一部（上限20万円）を助成

（ウ）助成件数：104件（平成27年度：128件）※KPIとして認定し、目標は120件。

（エ）20,319,000円

地区別件数	一庫	丸山台	大和東	大和西	見野	緑が丘	東畦野山手	向陽台	水明台	清和台東	清和台西
	1件	8件	1件	3件	1件	1件	1件	5件	3件	5件	5件
	湯山台	緑台	美山台	東多田	新田	けやき坂	平野	鼓が滝	鶯台	鶯の森町	鶯が丘
	5件	3件	1件	6件	4件	6件	4件	2件	2件	1件	1件
	下財町	火打	丸の内町	美園	萩原台西	花屋敷	栄町	中央町	栄根	小戸	小花
	1件	3件	7件	2件	2件	2件	1件	1件	2件	4件	1件
	寺畑	加茂	南花屋敷	東久代							合計
	1件	3件	4件	1件							104件

③川西市空家等対策基本方針策定業務

川西市空家等対策委員会を3回開催し「川西市空家等対策計画（骨子案）」を作成

④平成28年度空き家の相談件数

相談件数	69件
相談内容(内訳)	
倒壊等	22
立木・雑草	45
衛生	11
防犯	4
騒音	1
総件数合計	83

※一件の相談に対して重複事案があるため、総件数が相談件数より増えている。

※相談件数には長屋の相談も含む。

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>「ふるさと団地再生の手引き」の周知を図るため、セミナーを実施し意見交換や県制度の紹介を行った。また、親元近居助成制度を実施し、104件の実績により、流入人口増加、流出抑制につながった。</p> <p>空き家対策については、苦情相談の対応を行いつつ、H29年度に策定する「川西市空家等対策計画」（骨子案）をまとめた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>親元近居助成制度は、市内外への効果的なPRを検討し、流入人口の増加につなげる。</p> <p>空き家対策については、平成29年度の計画策定と共に、平成30年度以降の計画に基づく特定空家への対処について、十分な意見調整を図る必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>親元近居助成制度は、子育て世帯をターゲットに絞った民間広告媒体を活用するなど、効果的な周知方法を検討する。</p> <p>空き家対策については、協議会意見を計画案に取りまとめ、平成30年度の公表・周知をめざす。</p> <p>「ふるさと団地再生の手引き」の周知を図り、新たに取り組もうとする団地を喚起していく必要がある。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	商工振興事業		決算書頁	230
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	11 商工業を振興します			
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史

## 2. 事業の目的

商工業者の経営の安定と技術の改善・発展を支援する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	18,909	775,092	△ 756,183	一般財源	17,069	18,743	△ 1,674
内 事業費	18,909	775,092	△ 756,183	国県支出金	840	187,005	△ 186,165
内 職員人件費				地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)				特定財源(その他)	1,000	569,344	△ 568,344
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	商工振興事業	細事業事業費(千円)	18,909
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助	審議会・検討会	団体等との共催・連携
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】川西市商工会商工振興事業補助金			
市内商工業の活性化、経営安定のための経営改善普及事業等に取り組む商工会に対し、補助を行った。			
(実績)			
経営改善普及事業の内容 【実施主体：商工会】			
■ 講習会の開催(回数、参加人数)			
・ 起業支援セミナー 3回 16名 ・ 経営・経理講習会 5回 92名 ・ 税務関連 1回 10名			
■ 専門指導員等による個別相談			
・ 経営相談 58回 65名 ・ 法律相談 1回 1名 ・ 労務相談 3回 3名			
・ 金融相談 12回 26名 ・ 税務相談 全15日 85名			
■ 記帳指導員による相談・指導 14事業所 122回 ■ 経営指導員による相談・指導 2,143回			
■ 補助額：13,000,000円			
【取組2】川西まつり支援事業費補助金			
本市産業を市内外にPRするとともに、にぎわいと活力あるまちづくりをめざして開催される「川西まつり」に対し、実行委員会への補助を行った。			
(実績)			
川西まつりの内容 【実施主体：川西まつり実行委員会(商工会・JA兵庫六甲)、川西市】			
商工業の振興を目的として、新鮮野菜の即売会やダンボール迷路等のイベントが開催された。			
■ 川西まつり来場者数			
平成24年度(第6回目)	10,000人	平成25年度(第7回目)	中止
平成26年度(第8回目)	23,000人	平成27年度(第9回目)	25,000人
平成28年度(第10回目)	25,000人		
■ 補助額：1,793,082円			

【取組3】多田地域活性化に係る事業費補助金

地域商業の活性化イベントである「多田トラ市」を開催した多田商業会に補助を行った。

(実績)

多田トラ市の内容【実施主体：多田商業会】

軽トラックを活用した飲食や雑貨品のブースを設けて開催するイベント。

■多田トラ市の来場者数

■補助額：500,000円

平成24年度（第1回目）～平成26年度（第3回目）各1,000人

平成27年度（第4回目）～平成28年度（第5回目）各3,000人

【取組4】提案公募型地域経済活性化事業補助金

商業活動を通じて、地域のにぎわいづくりや活性化に寄与できる事業を行う事業者に対して補助を行った。

(実績)

■提案件数 実績1件(平成27年度採択) ■補助金額：496,000円 ■採択事業：マタニティ整体

【取組5】新商品開発等事業者補助金

市特有の資源を活用した新商品の開発や既存商品を改良しようとしている事業者に対し、補助を行った。

(実績)

■申請件数5件 → 採択件数：2件 ■補助金額：1,000,000円

■採択事業：加茂若桃ゼリー、源氏兜

【取組6】女性起業サポート事業

起業を希望する女性に対し、起業を考え始めた段階から起業後のフォローまでを総合的に支援する川西女性起業塾を開催し、女性起業家を育成することで、多様な働き方の提供や女性の就業率の向上を図った。

(実績)

■プレセミナー（1回）参加者：26名、申込み数：31名 ■本講座（8回）受講者数23名、申込み数：27名

■満足度アンケート 100%の満足度（非常にためになった92%、ためになった8%）

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○	市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。		<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>昨年度に引き続き、新商品開発等事業者補助金制度において2件の新商品が誕生し、川西市の魅力を発信する商品の開発を支援することができた。</p> <p>平成28年度の新規事業として女性起業塾を開催することで、起業に必要なノウハウを習得してもらいつつ、女性起業家同士のつながりを育み、高い満足度を得ることができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○						
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。							
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>補助制度は、効果が目的に適うかを検証し、適宜改正を行う必要がある。空き店舗対策に資する補助制度があるものの、新規採択が無く、周知等により活用の促進を図る必要がある。また、女性起業塾においては、さらなるステップアップを希望する起業希望者にも対応できるよう支援が必要である。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>申請数が少ない補助制度については、商工会等と協力してより効果的な周知方法を検討するとともに、より利用しやすい制度構築を図るため、他市の事例を研究する。</p> <p>女性起業サポート事業においては、引き続き段階に応じた支援を実施する。また、起業済の人や既に高レベルな知識を有する層をターゲットに、商品の効果的な売り方や販促技術に関するより実践的なセミナーを実施することで、女性起業家の増加を図る。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	中小企業支援事業		決算書頁	230
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	11 商工業を振興します			
所管部・室・課	市民生活部 産業振興課	作成者	課長 阿部 成史	

## 2. 事業の目的

中小商工業者の経営基盤を確立し、地域商業を活性化する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	102,281	109,049	△ 6,768	一般財源	14,066	16,531	△ 2,465
内 事業費	93,510	100,288	△ 6,778	国県支出金			
内 職員人件費	8,771	8,761	10	地方債			
内 公債費				特定財源 (都市計画税)			
参考 職員数 (人)	1	1		特定財源 (その他)	88,215	92,518	△ 4,303
再任用職員数 (人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業 1>	中小企業支援事業	細事業事業費 (千円)	5,117
(1) 参画と協働の主な手法 (実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助	
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】地域商業活性化補助事業			
商店会が開催するイベント事業や商店会の経営指導・分析等に要する委託業務に対し、補助を行った。			
(実績)			
■市内商店街団体：15件補助			
■補助総額：2,525千円			
【取組2】技術開発補助事業			
新技術及び新製品の開発を図るために、国・県等から補助金の交付を受けて、技術開発を実施する事業者に対して、補助を行った。			
(実績)			
■市内事業所：1件補助			
■補助総額：1,900千円			
【取組3】見本市出展補助事業			
販路の拡張及び情報収集のために、国・県等が主催・後援する見本市に出展する事業者に対して、補助を行った。			
(実績)			
■市内事業所：4件補助			
■補助総額：360千円			

<細事業2>	中小企業融資あっせん事業	細事業事業費（千円）	88,393		
(1) 参画と協働の主な手法（実績）					
(2) 28年度の取組と成果					
【取組】中小企業融資あっせん事業					
市内中小企業者への事業資金が円滑に提供されるように、中小企業融資あっせん制度取扱金融機関に対し預託を行った。また、融資に伴う、借入者の負担軽減のため、県信用保証協会に支払う保証料の一部を補助した。					
（実績）					
融資あっせん事業（融資件数）					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
申込件数（件）	8	9	4	4	3
申込金額（千円）	34,000	35,500	10,000	15,000	9,500
承諾件数（件）	8	9	4	3	3
承諾金額（千円）	34,000	35,500	10,000	12,000	9,500
保証負担件数と金額：2件 135,300円					

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<b>28年度の事業の達成状況</b> イベント等への支援により、地域と事業者との交流の場が創出された。その結果、この機会が事業者の顧客獲得のきっかけとなり、さらには事業者の商売への意欲向上にもつながった。また、工業者等に対する支援においては、新技術の開発及び商品のPR等に貢献できた。
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<b>課題と改善について</b> 各補助制度において、利用者の固定化や実績なしといった課題が生じているため、制度の効率的なPRが必要。また、融資あっせん制度については、制度の見直しを含め、効果について検証する必要がある。	<b>29年度以降における具体的な方向性について</b> イベント事業については、各地の成功事例や新たな取り組みの事例などを収集し、各商店会や商業団体に情報提供することにより、その実施内容の見直しを促す。さらに、中小企業の資金調達のための融資あっせん制度においては、制度内容を改正し、事業者が活用しやすい融資制度の選択肢を提供する。						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	中心市街地活性化推進事業		決算書頁	230
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	12 中心市街地の活性化を推進します			
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史

## 2. 事業の目的

中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を推進する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	21,037	19,631	1,406	一般財源	21,037	19,631	1,406	
	事業費	12,266	10,870	1,396	国県支出金				
	職員人件費	8,771	8,761	10	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	1	1		特定財源(その他)				
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	中心市街地活性化推進事業	細事業事業費(千円)	12,266
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助	
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】川西市中心市街地商業活性化助成金			
川西市中心市街地活性化協議会(以下「協議会」という。)に対して助成金を交付し、中心市街地の活性化に向けた事業及び協議会の運営に対する支援を行った。			
(実績)			
○きんたくんバル…川西能勢口周辺の事業者(きんたくんバル実行委員会)による食べ歩き・飲み歩きのイベント			
第11回 H28.4.29(金)			
■参加店舗数:60店舗 ■チケット売上数:823冊、バラ89枚			
第12回 H28.10.15(土)~19日(水)			
■参加店舗数:51店舗 ■チケット売上数:701冊、バラ63枚			
○まちなか美術館…川西能勢口周辺の空きスペース等を美術館に見立てるイベント			
第4回 H29.2.19(日)~3.5(日)			
■参加アーティスト数:49組 ■作品数:51点			
○川西能勢口駅周辺歩行者通行量調査			
H27年度実施→H28年度実施			
■平日:57,613人→63,269人 ■休日:63,192人→61,136人			
○タウンマネージャー事業			
商業者間等の連携強化、事業等の企画・改善等の実施、国等の補助金の活用の支援や人材の発掘・育成などを実施する者を雇用する。			

【取組 2】まちなか滞留・実感調査業務

川西市中心市街地活性化基本計画に掲げるまちなか平均滞留時間の調査を行うとともに、市民ニーズを把握することで、今後の有効的な活性化策として活かせるよう、聞き取りによるアンケート調査を実施。

(実績)

実施日：平成28年7月3日（日）、4日（月）いずれも10:00～18:00

実施場所：川西能勢口駅周辺

回収数：416件

調査結果：

	H26	H27	H28	
平均滞留時間	2.04	2.29	2.57	(時間)

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>前基本計画の推進により生まれたにぎわいを継続するため、バルやまちなか美術館といったソフト事業の展開に注力し、街に人が訪れ、楽しんで滞留できる仕組み作りを行った。また、前年度から引き続き実施するまちなか滞留・実感調査において、中心市街地に関するニーズに、子どもが遊べる場所やフリースペースの充実などが上げられることを把握し、次年度の事業に反映する体制を整えた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>基本計画を推進するうえで、商業団体の自立を促し、中心市街地の活性化に自ら取り組む仕組みづくりが重要であることから、調整役のタウンマネージャーとのさらなる連携が必要である。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>基本計画の核事業であるキセラ川西整備事業が順調に進捗し、川西市の新たな中心市街地が完成に向かっていく。基本計画3年目に入る平成29年度は、駅周辺とキセラ川西エリアとの回遊性の構築に着手し、キセラ川西エリアの完成に備える必要がある。能勢口駅東側から徒歩1分の場所にイベント広場を整備し、市民主体となって運営する体制を構築することで、キセラ川西と駅周辺を結ぶ新たな回遊の拠点としての活用を図る。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	農業振興事業			決算書頁	226
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	13 農業を振興します				
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史	

## 2. 事業の目的

地域農作物の生産を振興するとともに地産地消を推進する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	39,790	34,503	5,287	一般財源	23,224	23,152	72
内 事業費	22,248	16,981	5,267	国県支出金	16,549	11,325	5,224
内 職員人件費	17,542	17,522	20	地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)	2	2		特定財源(その他)	17	26	△9
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	水田農業総合対策事業	細事業事業費(千円)	1,426
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助		
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】	川西市農業再生協議会の運営		
(目的)	国内の農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食糧自給率の向上を達成するために、経営所得安定対策の推進や、実施における連携体制の構築、米の需給調整の推進などを行う。		
	H24年度	H25年度	H26年度
生産目標面積(a)	7,300.00	7,300.00	7,060.40
作付け実績面積(a)	6,780.60	6,281.20	6,185.10
配分対象農業者(人)	599	597	595
【取組2】	耕作放棄地の解消と担い手育成への取り組み		
(目的)	農業経営基盤促進法に基づく「基本構想」を策定し、法的な制限の緩和等を利用した耕作放棄地の解消と担い手の育成を行う。		
(事業実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業塾の開催 受講者 11人 (市内在住または在勤者で、農業に興味がある人) 現場実習を6回実施</li> <li>● 市民ファーマー制度 非農家であっても、認定を受けた人が、小規模な農地(1アールから10アール)を借りて、農業を始めることができる制度。 実績 2名 (平成27年度認定:山原1名)(平成28年度認定:山原1名)</li> <li>● 認定農業者 農家が積極的に農業を展開するために、国の有利な支援策が受けられるよう経営改善計画を作成し、市による認定を受けることによって、認定農業者となる。 実績 1名 (平成25年度認定:西畦野1名)</li> </ul>		

<細事業2>	農業振興推進事業	細事業事業費(千円)	20,822			
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助					
(2) 28年度の取組と成果						
【取組1】	川西市農林業振興支援事業					
(目的)	農林業の健全な発達と振興及び地域の活性化を図るために、各種団体で組織された研究会又は団体に当該補助金を交付することにより、農林業及び経済の発展向上に寄与する。					
(対象団体)	川西市農業振興研究会、川西市営農研究会 (単位:円)					
(対象実績)		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	川西市農業振興研究会	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,200,000	1,200,000
	川西市営農研究会	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,890,000	1,890,000
【取組2】	有害鳥獣等捕獲頭数 (単位:頭)					
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	アライグマ	66	82	120	33	44
	ヌートリア	3	0	7	2	3
	イノシシ	29	42	74	32	65
	シカ	13	35	52	41	48
【取組3】	ウメ輪紋病強化対策に関する取り組み					
(目的)	平成27年度より、国が加茂地区の一部を強化地区に指定し、この地区内の宿主植物(ウメ、モモ等)に対して、年3回(5月、6月、8月)の発生確認の悉皆調査と年2回(春季、秋季)のアブラムシ防除に取り組み、モモ園地での早期改植を目指す。					
(事業実績)		H28年度	(単位:円)			
	委託料(調査・防除業務等)	14,133,800				
	事務費(広報費、旅費等)	403,861				

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>農業振興に係る事業として、桃・いちじくの即売会、朝市(12月に「かわにしまるまるマルシェ」へリニューアル)などの事業を実施したほか、川西産いちじくの愛称「朝採りの恵み」の商標登録を行い、特産物の魅力増進に努めた。さらに、農業塾の開催等により農業への興味関心を高めた。</p> <p>また、アライグマ・シカ・イノシシなどの有害鳥獣対策では、猟友会川西支部の協力により被害防止に努めた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>特産物等の消費拡大を促すためには、若年層やファミリー層へのPRが必要である。鳥獣被害については、撲滅を目指し、捕獲体制等を見直すなど、より効果的な手法を構築する必要がある。また、市民ファーマー制度や認定農業者の成り手が少ないため、引き続き、周知等が必要である。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>特産物等のPRについては、従来の各種イベント時のPRに加えて、商業との連携による商品化等により充実を図る。</p> <p>また、鳥獣被害については、猟友会等の協力体制の強化や県等と連携し、捕獲頭数の増に努める。</p> <p>市民ファーマー制度や認定農業者制度については、農家及び市民にその制度の周知に努めるとともに、農業塾の修了生を中心に市民ファーマーに導き、耕作放棄地の増加抑制や担い手の育成に取り組む。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	農業用施設改良事業			決算書頁	228
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	13 農業を振興します				
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史	

## 2. 事業の目的

ため池の安全を確保するとともに、農業用水を安定的に供給する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	43,241	17,809	25,432	一般財源	12,151	15,919	△ 3,768
内 事業費	43,241	17,809	25,432	国県支出金			
内 職員人件費				地方債	29,200		29,200
内 公債費				特定財源 (都市計画税)			
参考 職員数 (人)				特定財源 (その他)	1,890	1,890	
再任用職員数 (人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	農業用施設改良事業	細事業事業費 (千円)	43,241
(1) 参画と協働の主な手法 (実績)	団体等への補助		
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】	農業用施設等の改良事業		
(目的)	農業用施設等の改修に要する費用について、市が補助を行うことにより、農地の保全と農業生産力の向上を図ることを目的とする。		
(事業実績)	対象地区	工事内容	金額 (円)
	久代地区 (応急)	中池管理用フェンスの老朽化及び管理上の関係により、老朽化したフェンスを扉フェンスに変える応急工事	41,000
	久代地区 (応急)	久代北代井の既設の縞板蓋を改めて固定する応急工事	18,000
	久代地区 (応急)	ファブリダム施設の修理	423,000

【取組 2】 加茂井堰テレメータ・放流警報設備更新工事

(事業実績)

名 称	実施内容	金額 (円)
加茂井堰テレメータ・放流警報設備更新工事	①テレメータ放流警報監視装置の更新 ②警報装置の更新	37,476,000

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>地元から要請のあった、緊急性のある農業用水路や樋門などの工事に対して、市が助成することにより、農地の保全等に貢献した。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>近年、ため池や水路、樋門などの農業用施設の老朽化が著しく、その補修工事に対して、地元から市の支援を求める相談が増えている。</p> <p>また、農業者の高齢化や担い手不足により、さらに農業用施設の維持管理が困難となることが予想され、地元を支援していく必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>農業用施設の改修工事等に対しては、今後各地域の施設の状態を把握し、予算の範囲内で優先順位を決め、計画的に支援していく必要がある。</p> <p>また、農業者の高齢化や担い手不足による維持管理の困難化については、施設の機能廃止等を含め、地元の意向を踏まえた施設管理の方策を検討していく。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	農業用施設等災害復旧事業		決算書頁	348
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	13 農業を振興します			
所管部・室・課	市民生活部 産業振興課	作成者	課長 阿部 成史	

## 2. 事業の目的

被災した農業用施設等を復旧する
-----------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
	総事業費	11,661	8,470		3,191	一般財源	1,635
内 事業費	11,661	8,470	3,191	国県支出金	8,220	6,999	1,221
内 職員人件費				地方債	1,200		1,200
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)				特定財源(その他)	606	598	8
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	農業用施設等災害復旧事業	細事業事業費(千円)	11,661
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) 28年度の取組と成果			
【取組1】	農業用施設等災害復旧事業に係る設計測量等委託(平成26年度繰越事業)		
(目的)	台風11号により被災した市内の農業施設に対し、農林水産事業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律に基づく災害復旧事業を実施するにあたって実施計画書作成および現場管理を行うため		
(事業成果)	対象	工事内容	金額(円)
	農業災害現場技術・積算業務委託	・査定設計書作成(黒川、石道) ・現場監督(黒川、石道)	1,998,000

【取組 2】 農業用施設等災害復旧事業に係る復旧工事

(目的) 平成26年8月8日～10日までの間の台風11号暴風雨及び豪雨による異常出水により崩壊した農業施設を復旧するため

(事業成果)	対象	工事内容	金額 (円)
	石道農業施設災害復旧工事	(石道井堰) L=10m、(土工)一式、(取壊工)一式 (井堰工)一式、(仮設工)一式 など ※全体業務委託料(10,235,160円)のうち、3,124,656円はH27年度に支出。	7,110,504
	黒川地内農地災害復旧工事	(石打谷池) L=22m (土工)一式 (仮設工)一式	2,552,040

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>平成26年度に発生した台風11号豪雨により被災した農業用施設2件(石道、黒川)について復旧工事を実施した。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>工事が次年度にわたる場合が多いため、災害復旧工事が速やかに実施できる体制を整備する必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>国の法律に基づく復旧工事及び平成28年度に創設した補助制度を活用し、早期の災害復旧に努める。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	就労支援事業			決算書頁	220
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります				
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史	

## 2. 事業の目的

<b>職業紹介や求人情報の提供による安定した雇用機会を提供する</b>
-------------------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	17,820	17,967	△ 147	一般財源	14,763	14,909	△ 146	
	事業費	6,564	6,559	5	国県支出金				
	職員人件費				地方債				
	公債費	11,256	11,408	△ 152	特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)				特定財源(その他)	3,057	3,058	△ 1	
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	就労支援事業	細事業事業費(千円)	6,564			
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	審議会・検討会					
(2) 28年度の取組と成果						
【取組1】川西しごと・サポートセンター						
川西しごと・サポートセンターにおいて、若年者等をはじめ求職者全般を対象に、国(兵庫労働局)の職業相談・職業紹介等を一体的に実施した。						
(内容)						
○川西市						
・市の各種支援制度の相談及び情報提供		・労働相談(月2回)				
・各種(生活・介護等)相談及び支援機関の情報提供		・キャリアカウンセリング(月4回)				
・上記相談者のうち、就労希望者等の職業相談への誘導		・労働者支援セミナー(年3回程度)				
○兵庫労働局						
・求人検索機(7台)による求人情報の提供						
・求職者に対する職業相談、職業紹介						
・求職者のうち、必要と思われる者に対する市実施の労働相談等への利用勧奨						
・市が要望する一体的実施事業に係る地域の効果的な雇用対策を図るため、若年者の就労をサポートする就職面接会、就職支援セミナー等を事業所へ委託して実施						
(実績)川西しごと・サポートセンター						
項目	H24	H25	H26	H27	H28	(人、件)
来所者数	34,881	31,588	28,595	26,909	24,751	
新規求職者数	1,820	1,561	1,537	1,479	1,477	
職業紹介件数	6,658	6,444	5,540	5,391	5,001	
就職件数	1,212	1,002	1,003	1,003	958	
平成24年4月1日付で「川西パートバンク」から「川西しごと・サポートセンター」に名称変更						

【取組 2】若者キャリアサポート川西

川西しごと・サポートセンター内に、「若者キャリアサポート川西」を併設し、合同就職面接会や就職支援セミナーの開催など、概ね40歳未満の若年者の就職を支援する事業を実施した。

(内容)

○合同就職面接会

○就職支援セミナー

- ・応募書類作成支援 年間1回実施
- ・面接技術向上支援 年間1回実施
- ・職業意識啓発支援 年間2回開催

○若者サポート事業

- ・相談窓口の設置（コーディネーターによる受付、利用登録、専門家による相談予約）
- ・キャリア形成支援のための相談（キャリアカウンセリング 週5日）
- ・心理面での相談（心理カウンセリング 週2日）
- ・労働条件、生活支援相談（社会保険労務士による労働生活相談 週1日）

(実績) 若者キャリアサポート川西

項目	(人、件)			
	H25	H26	H27	H28
相談来所者数	621	802	1,104	995
新規登録者数	152	137	190	239
就職件数	89	92	120	148

項目	(人、件)			
	H25	H26	H27	H28
合同就職面接会in川西	64	115	111	85
就職支援セミナー	49	49	40	50
キャリアカウンセリング	458	433	810	699
心理カウンセリング	22	21	33	-
労働・生活相談	17	20	52	61
合計	610	638	1046	895

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>川西しごと・サポートセンターでは、来所者数、就職件数ともに減少しているが、職業紹介件数も減少していることから、就職率としては上昇している。</p> <p>また、若者キャリアサポート川西では、新規登録者数、就職件数ともに増加しており、川西しごと・サポートセンター内での連携が図れている。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>景気回復を背景に雇用情勢が改善傾向にあるものの、若年者を始め、引き続き多くの就業希望者が存在しているため、川西しごと・サポートセンター及び若者キャリアサポート川西の、さらなるPRとともに就職に関する情報提供を行い、利用促進を図る必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>川西しごと・サポートセンター及び若者キャリアサポート川西は、市の雇用対策の重要拠点であるため、引き続き、ハローワーク伊丹との連携を図りながら事業を推進する。市内事業所を中心に、若者の就業体験の場を開拓しマッチングする若年者就労体験支援事業を周知することで、さらに就職率の向上に努める。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	労働者支援事業		決算書頁	220
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります			
所管部・室・課	市民生活部	産業振興課	作成者	課長 阿部 成史

## 2. 事業の目的

勤労者及び就労希望者を支援する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	36,378	31,111	5,267	一般財源	29,800	24,045	5,755	
	事業費	18,836	13,589	5,247	国県支出金	748		748	
	職員人件費	17,542	17,522	20	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	2	2		特定財源(その他)	5,830	7,066	△ 1,236	
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	労働者支援事業	細事業事業費(千円)	13,306															
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																	
(2) 28年度の取組と成果	<p>【取組1】キャリアカウンセリング、労働相談 (実績) キャリアカウンセリング及び労働相談の利用者数 市内在住または在勤者を対象に、専門カウンセラーによ ※ ( ) 内は延べ相談回数 るキャリアカウンセリングや労使間トラブルの解決の場として労働相談などを実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャリアカウンセリング</td> <td>76(93)</td> <td>105(119)</td> <td>130(146)</td> <td>137(146)</td> </tr> <tr> <td>労働相談</td> <td>22(23)</td> <td>31(32)</td> <td>19(19)</td> <td>16(16)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【取組2】川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター 市内中小企業で働く従業員の福利厚生支援として、中小企業勤労者福祉サービスセンター(パセオかわにし)において、健康管理事業や慶弔給付事業、各種チケットあっせん等を実施した。</p> <p>【取組3】産業保健推進事業 産業保健推進事業として、市内事業所のうち従業員50人未満の小規模事業所の従業員を対象に、健康診断を実施した。</p> <p>【取組4】若年者就労体験支援事業 市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業を実施した。 (体験参加人数:25人、内定者:21人)</p> <p>【取組5】在宅就業促進支援事業 自宅での仕事を希望する市民に、インターネット上で仕事を受発注できるクラウドソーシングを活用した働き方を提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPに在宅就業専用ページを開設</li> <li>・在宅就業説明会を実施(1回)定員:100人、参加者:188名</li> <li>・在宅就業の基礎的な業務であるライティングを学ぶセミナーを実施(2日間連続開催)定員:20人、参加者:19人</li> </ul>			項目	H25	H26	H27	H28	キャリアカウンセリング	76(93)	105(119)	130(146)	137(146)	労働相談	22(23)	31(32)	19(19)	16(16)
項目	H25	H26	H27	H28														
キャリアカウンセリング	76(93)	105(119)	130(146)	137(146)														
労働相談	22(23)	31(32)	19(19)	16(16)														

<細事業2>	勤労者住宅資金融資あっせん制度	細事業事業費（千円）	5,530	
(1) 参画と協働の主な手法（実績）				
(2) 28年度の取組と成果				
【取組1】勤労者住宅資金融資あっせん制度				
昭和53年に、勤労者の持家促進を支援するための住宅融資をあっせん制度として発足させたが、平成15年に新規貸付を終了しており、現在は返済及び残高に応じた預託のみを行っている。				
（実績）勤労者住宅資金融資あっせん制度（H28.3末残高）				
貸付年度	件数	債務残高（円）	預託金（円）	預託倍率
4	1	1,085,748	271,437	1/4
5	2	3,142,126	785,532	1/4
6	1	1,209,198	302,300	1/4
7	2	2,970,055	742,514	1/4
合計	6	8,407,127	2,101,782	
≒2,100,000 …①				
貸付年度	件数	債務残高（円）	預託金（円）	預託倍率
9	3	6,850,915	1,370,183	1/5
11	1	1,786,585	357,317	1/5
12	2	8,545,546	1,709,109	1/5
合計	6	17,183,046	3,436,609	
≒3,430,000 …②				
① + ② = 5,530,000円				

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○	市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。		<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>労働相談は利用者数が減少したものの、キャリアカウンセリングの利用者は、川西しごと・サポートセンターからの紹介や連携が取れたことにより増加した。新規事業の在宅就業促進支援事業は、予想を上回る反響があった。若年者就労体験支援事業は8割以上が内定を得るという極めて高い内定率となった。体験開始から終了後までの手厚いフォローにより、体験者にマッチした仕事を提供できた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○						
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。							
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>労働相談やキャリアカウンセリングは、相談日の稼働率を上げるため、制度の周知が必要である。また、在宅就業促進支援事業については、募集に対する応募が2倍以上となり、この熱意に応えられるよう、次年度はより多くの方々へ在宅での就業が可能となるよう受け皿を増やす必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>労働相談・キャリアカウンセリングにおいては、引き続き広報等で周知し、川西しごと・サポートセンターとのさらなる連携を図り、利用者の増加をめざす。</p> <p>また、在宅就業促進支援事業については、より多くの希望者が漏れることなく知識を習得する機会を得られるよう、メールでの動画配信や、オンライン座談会の実施など、インターネットを活用した就業という性質を最大限活かした事業展開を図る。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	国内交流事業			決算書頁	112
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・室・課	市民生活部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏		

## 2. 事業の目的

姉妹都市等との交流により友好、親善を促進する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	644	401	243	一般財源	644	401	243
内 事業費	644	401	243	国県支出金			
内 職員人件費				地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)				特定財源(その他)			
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	国内交流事業	細事業事業費(千円)	644
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携		
(2) 28年度の取組と成果	<p>【千葉県香取市(旧佐原市)との交流】</p> <p>平成2年8月1日に、旧佐原市(平成18年3月27日、合併により香取市)と姉妹都市提携し、交流を継続していたが、提携20周年を迎えた平成22年7月17日に再度、香取市と姉妹都市提携協定書を取り交わし、交流の継続を確認した。</p> <p>【主な交流内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌などを通じて、双方の市の情報交換を行った。</li> <li>・川西市国際交流協会で、「川西まつり」で販売する香取市特産品のサツマイモ「紅あずま」「紅はるか」を斡旋し、川西市市民に対して広く香取市の情報発信を行った。</li> <li>・「川西まつり」では香取市から交流担当職員が来訪し、川西市国際交流協会が斡旋したサツマイモの販売と、もう一つの特産品であるマッシュルームを販売し、来場者に香取市のPRを行った。</li> </ul>		
			
	香取市「佐原の大祭」	香取市特産 サツマイモ	

【全国川西会議（ネットかわにし）】

「川西」という名のもと、お互いが連携意識を高めるとともに、共同して町の資源や特質を活かし、住民や行政など、幅広い分野で交流を通して、相互に豊かなまちづくりを目指すため、平成9年11月10日に設立された。例年の総会等の開催を通して、構成市町の交流を図っている。

（平成10年11月19日「災害応急対策活動の相互支援に関する協定」を締結）

〈構成市町・・・兵庫県川西市、山形県川西町、奈良県川西町、新潟県十日町市〉

【全国川西会議総会】

新潟県十日町市で開催され、構成市町のまちづくりや交流について協議した。

また、各市町の若手職員による「若手交流研修」の実施を通じて、若手職員間の情報交換や交流を図った。

【古田旗争奪少年軟式野球大会】

川西市少年野球連盟が、「古田旗争奪少年軟式野球大会」奈良県川西町及び山形県川西町の少年野球チームを招待し、川西市の少年野球チームと交流を図った。



平成28年度全国川西会議

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>香取市とは、特産品のサツマイモ等の斡旋販売や、川西まつりを通じて姉妹都市であることをPRすることができた。</p> <p>全国川西会議では、総会が十日町市で開催され、例年と同様に、構成市町と継続的に交流ができた。若手職員研修においても、各市町の職員同士の交流を図ることができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		
市民の利便性や事業の効率性が向上した。		
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>国内交流については、川西市国際交流協会の特産品の斡旋販売等を行っているが、姉妹都市をPRする事業が少ないため、双方の市民が多く参加しているとは言えない状況である。今後は多くの市民が参加できる方策を、香取市と協議を進める必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>香取市との交流について、現在行っている交流活動を継続するほか、市民により広くPRするため、香取市に「源氏まつり」などのイベントに参加いただき、また、川西市も香取市を訪問するなど、更なる交流を図る。</p> <p>全国川西会議については、平成29年度の開催市が川西市であるため、開催案内や運営に関する事の準備を進め、平成30年以降についても構成市町と全国川西会議を通じて交流を深める。</p>	
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>		

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	観光推進事業			決算書頁	236
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・室・課	市民生活部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏		

## 2. 事業の目的

本市の歴史や芸術・文化の発信により観光を振興する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	6,798	8,162	△ 1,364	一般財源	6,051	6,012	39
内:事業費	6,798	8,162	△ 1,364	国県支出金		2,000	△ 2,000
内:職員人件費				地方債			
内:公債費				特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)	747	150	597
職員数(人)							
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	観光推進事業	細事業事業費(千円)	6,798
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	住民説明・情報発信	
(2) 28年度の取組と成果	<p>○川西市観光協会へ補助金を交付し、観光事業の育成発展と観光行政の推進を図った。 平成28年度末現在72会員が加入。観光プリンセスがイベント(金時まつり等)に14回参加した。</p> <p>○市内外や地域での各種イベントに川西市の元気いっぱいキャラクター「きんたくん」を活用するなど、地域の活性化に向けた事業展開を行うとともに「きんたくん」のPRを図った。</p> <p>○「川西学検定」市民に本市のことを知ってもらうため、第5回「川西学検定」として、本市の歴史や自然などを紹介し、検定問題を掲載した冊子を広報誌と一緒に配布した。 応募総数:769人 平均点26.2点(30点満点)</p> <p>○市内のハイキングコース散策を楽しめるよう、コースをパンフレット、ホームページ等で紹介した。</p> <p>○園田競馬の「名称付市町特別競走」へ協賛し、本市の観光PRを行った。</p> <p>○「猪名川上流の地域資源を活用するネットワーク会議(いいな里山ネット)」(川西市、猪名川町、豊能町、能勢町の行政、商工会、観光協会、兵庫県、大阪府、能勢電鉄、阪急バス、一庫ダムで構成)で、構成団体とともに情報発信事業等を行った。</p> <p>○黒川地区において、大学生などの若い外部の人材と地元住民・団体が連携した観光まちづくりを進めるため、アドバイザーの助言により、地区内の古い写真の活用を通じ、ふるさとの再発見とまちづくり意識の醸成を図った。</p> <p>○黒川地区を中心とした桜情報を市内外に広く情報発信し、観光客の増加を図るため、桜MAP「春里」を発行した。</p>		
			ご当地キャラ博 in 彦根 2016
			ヴィッセル神戸場外イベント

○阪神北地域ツーリズム振興協議会事業

・阪神北県民局と川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、猪名川町の4市1町や観光協会等で組織する「阪神北地域ツーリズム振興協議会」事業で構成団体とともに神戸(三宮)で開催された観光PRフェアに参加。また、三木SA(上り線)で「ひょうご北摂観光アンテナショップ」に参加し、特産品販売や各市町の観光リーフレットを配布するなど、情報発信を行った。

【観光PRフェア】

日時／平成28年9月17日(土) 場所／神戸・三宮:さんちか夢広場

内容／阪神北地域ツーリズム振興協議会の構成団体で観光のPR等を行った。

【ひょうご北摂観光アンテナショップ】

日時／平成28年10月の毎土・日曜日及び祝日(11日間) 場所／三木SA(上り線)

内容／新名神高速道路宝塚SA(仮称)での地域特産品や観光情報の発信を視野に入れ、アンテナショップを試行的に開設することで、阪神北地域の交流人口の拡大や地域特産物の認識向上を通じた消費拡大を図った。

○きんたくんの着ぐるみ貸出件数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市内イベント	99	141	148	116	94
市外イベント	29	22	5	9	10
合計	128	163	153	125	104

○東谷ズム

日時／平成28年6月5日(日)

場所／郷土館及び山下自治会館、平野神社、大昌寺ほか

来場者数／1,900人

内容／郷土館や東谷地域の歴史など地域資源を有効活用し、音楽演奏等を通じて東谷地域の活性化を図った。



観光PRフェア

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価

市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。	
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○

28年度の事業の達成状況

本市のキャラクター「きんたくん」のデザインは、印刷物等に広く利用された。また、「きんたくん」が市内外の多くのイベントに参加し、市の観光PRを行った。「日本一の里山」と呼ばれる黒川地区においては、ふるさとの再発見とまちづくり意識の醸成を図るために、古写真の展示や古写真を活用した交流会等を実施した。また、黒川地区を中心とした桜マップ「春里」を発行し、市の魅力を市内外へ発信した。

課題と改善について

市内外に向けた広域的なPRのため、「きんたくん」の新たなイベント等への参加やSNSの活用の検討を行う必要がある。また、黒川地区の里山の認知度が低く、さらに、黒川地区には、豊かな観光資源が多く存在しており、様々な団体等が活動しているが、相互の関連性や連携が希薄である。

29年度以降における具体的な方向性について

「きんたくん」を通じ、市の魅力や情報をSNS(Instagram等)で発信することにより、若者の市への関心を呼び起こし、交流人口の拡大を図る。また、黒川地区の自然豊かな里山における観光資源の有効活用や効果的なプロモーション活動、市の魅力と市民のふるさと意識の向上、交流人口の拡大を図る。具体的には、古民家の有効活用や(仮称)里山センターの整備、観光プロモーションの展開、さらには、観光施策を推進する体制の構築を検討していく。

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	イベント支援事業			決算書頁	236
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・室・課	市民生活部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏		

## 2. 事業の目的

歴史的・文化的資源を活用し「川西」を広くPRする

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	17,038	16,807	231	一般財源	17,026	16,595	431
内 事業費	8,267	8,046	221	国県支出金			
内 職員人件費	8,771	8,761	10	地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考	職員数(人)	1	1	特定財源(その他)	12	212	△ 200
	再任用職員数(人)						

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	川西市源氏まつり	細事業事業費(千円)	5,003		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助			
(2) 28年度の取組と成果					
<p>「清和源氏発祥の地 川西」を市内外からさらにPRすることを目的とし、多田神社をスタートし、多田駅周辺での懐古行列を中心としたイベントを、市観光協会と共催で4月10日に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>午後からの懐古行列に先駆けて、阪急川西能勢口駅隣接の「アステ川西びいぶう広場」で、源氏武者や三御前などのお披露目等のミニイベントを開催するとともに、能勢電鉄川西能勢口駅から日生中央駅で折返し、多田駅までのイベント列車(1編成)を走らせ、PRに努めた。</li> <li>八幡太郎義家役に市内在住の20歳の若武者を公募した。三御前役の選考会にも多数の応募があった。</li> <li>写真コンクールにおいては、市内外から多数の応募があり、市役所1階市民ギャラリー及びアステ川西アステギャラリーで入賞作品を展示した。</li> </ul>					
【源氏まつりの観覧者数の推移】					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
開催日	4月8日(日)	4月14日(日)	4月13日(日)	4月19日(日)	4月10日(日)
観覧者数	40,000人	45,000人	50,000人	40,000人	40,000人
  					

<細事業2>	川西おもしろ能	細事業事業費(千円)	3,264		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助			
(2) 28年度の取組と成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやき坂中央公園にある芸術作品「おもしろ座石舞台」を活用し、伝統芸能である新能の鑑賞の機会を提供するとともに、芸術文化の創造と振興に寄与することを目的に、10月1日に実施した。</li> <li>・国際交流協会が招待した留学生をはじめ、市内外の多くの方に伝統芸能(文化)の鑑賞機会を提供した。</li> <li>・また、平成20年から行っている会場内での「川西おもしろ能参加協力金」の募集活動を行い、第25回おもしろ能では、105,404円が集まった。</li> </ul>					
【演目】					
神楽式					
～狂言～ 福の神(ふくのかみ)					
～能～ 舟弁慶(ふなべんけい)					
【おもしろ能の観覧者数の推移】					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
開催日	10月6日(土)	10月5日(土)	10月4日(土)	10月3日(土)	10月1日(土)
観覧者数	373人	431人	563人	565人	414人
					

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>「源氏まつり」は、平成28年度で52回目の開催を迎えた。市内外の多くの観覧者に「清和源氏発祥の地 かわにし」をPRし、川西市の観光情報を発信することができた。</p> <p>「川西おもしろ能」では、多くの鑑賞者が来場し、日本の伝統文化に親しんでいただくことができた。また、海外からの留学生にも鑑賞していただき、日本の伝統文化を通して、交流を深めることができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>「川西おもしろ能」について、観覧者は平成28年度においては前年より減少したため、より効果的なPR方法を検討し、さらに周知を図る必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>平成28年度の「源氏まつり」は、昨年度と同様に、多田神社周辺で開催し懐古行列も同様のコースで実施した。今後も、「源氏まつり」の安全な実施のため関係各所と連携して実施していく。</p> <p>「川西おもしろ能」は、開催地周辺地域では、秋のイベントとして定着しつつあるが、従来のPRに加え、観覧者の年齢を参考にターゲットを絞り込んだ情報発信を行う。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	猪名川花火大会事業			決算書頁	236
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・室・課	市民生活部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏		

## 2. 事業の目的

伝統ある花火大会を開催し、多くの来訪者に本市をPRする

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	30,693	27,288	3,405	一般財源	30,693	27,288	3,405
内 事業費	21,922	18,527	3,395	国県支出金			
職員人件費	8,771	8,761	10	地方債			
公債費				特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)			
職員数(人)	1	1					
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	猪名川花火大会事業	細事業事業費(千円)	21,922
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携		
(2) 28年度の取組と成果	池田市との共催で昭和23年から始まり、平成28年度で第68回目の開催となった。約4,000発の花火を打上げ、川西市・池田市で合計11万4,000人の観客が集まった。		
	【花火大会観覧者推移】 (単位:人)		
	24年度	25年度	26年度
観覧者(川西市側)	47,000	52,000	雨天中止
観覧者(池田市側)	70,000	72,000	
観覧者(合計)	117,000	124,000	
			27年度
			28年度
			54,000
			70,000
			124,000
			54,000
			60,000
			114,000

平成28年度 花火大会写真



### 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		28年度の事業の達成状況					
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p>多数の観客を動員し、無事に実施することができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>多数の観客が見込まれることから、安全対策をさらに強化することが求められている。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>今後とも、事故なく安全に実施できるよう、一層の安全対策を川西警察等、関係機関と協議し実施する。</p> <p>近年、安全対策に対する経費などが年々上昇しているため、必要な安全対策等が実施できるよう、収入面において、どのように財源を確保するか検討する必要がある。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	知明湖キャンプ場管理運営事業		決算書頁	236
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます			
所管部・室・課	市民生活部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進に資する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	7,169	9,341	△ 2,172	一般財源	7,169	9,341	△ 2,172
内:事業費	7,169	9,341	△ 2,172	国県支出金			
職員人件費				地方債			
公債費				特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)			
職員数(人)							
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	知明湖キャンプ場管理運営事業	細事業事業費(千円)	7,169		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託				
(2) 28年度の取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年および市民がより身近に自然体験活動・野外活動を実施する機会を提供した。</li> <li>・使用期間:3月20日~11月23日</li> <li>・休業日:火曜日 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休業</li> <li>※4月29日~5月5日及び7月20日~8月31日の期間中は無休</li> <li>・使用時間:日帰り/午前9時~午後5時</li> <li>宿泊/初日の午後2時~午後4時までに入場、最終日の午後1時まで退場</li> <li>・使用料</li> </ul>				
1名あたりの料金					
区分	テント	利用日	利用者区分	高校生以上	中学生以下
日帰	—	全日	川西・伊丹・宝塚・三田・猪名川・豊能町住民	300円	150円
			上記以外	600円	300円
宿泊	個人テント持込	全日	川西・伊丹・宝塚・三田・猪名川・豊能町住民	300円	150円
			上記以外	600円	300円
	キャンプ場テント使用	全日	川西・伊丹・宝塚・三田・猪名川・豊能町住民	600円	300円
			上記以外	1200円	600円
	金・土		1800円	900円	

- ・平成28年度利用料収入 5,283,650円
- ・平成28年度指定管理料 6,518,000円

○知明湖キャンプ場利用者数 (単位:人)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
川西市	4,731	4,444	4,718	5,597	5,545
川西市以外	6,130	6,369	7,678	9,349	9,793
全額免除	1,104	1,175	1,488	914	967
合計	11,965	11,988	13,884	15,860	16,305



## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>昨年度よりも利用者数が増加し、市内外の多くの方に利用していただくことができました。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>より一層の利用者増を図るため、指定管理者の自主事業の充実や広域的にPR活動を行う必要がある。また、利用者の安全性や利便性を考慮し、施設の維持管理を計画的に進める必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>今後も多くの方々に利用していただくため、キャンプ場独自のホームページの展開や施設の維持管理について、指定管理者と協議を図っていく。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	知明湖活用推進事業		決算書頁	240
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます			
所管部・室・課	みどり土木部 公園緑地課	作成者	課長 釜本 雅之	

## 2. 事業の目的

知明湖周辺の各施設の維持管理を行う

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内	総事業費	16,777	16,747	30	一般財源	16,777	16,747	30	
	事業費	8,006	7,986	20	国県支出金				
	職員人件費	8,771	8,761	10	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	1	1		特定財源(その他)				
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	知明湖周辺施設維持管理事業	細事業事業費(千円)	8,006
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) 28年度の取組と成果	<p>国事業の一庫ダム湖活用環境整備事業により整備された国崎せせらぎ地区、出合地区などの施設の維持管理・除草及びゴミ収集を、一般財団法人一庫ダム湖周辺環境整備センターに委託して実施した。</p> <p>ダム湖周辺の良好な環境を維持し、また施設の維持管理を行うことで、ダム湖周辺を訪れた人々に良い印象を与え、本市の恵まれた自然環境のPRに繋がった。</p>		

国崎せせらぎ地区



出合地区



5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		28年度の事業の達成状況					
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p>施設の維持管理を継続したことにより、ダム湖周辺を訪れた人々に対して、本市の恵まれた自然環境をPRする事ができた。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>今後とも引き続きダム湖周辺施設の維持管理を継続していく必要がある。また施設の経年劣化に対する対応を猪名川河川事務所および一庫ダム管理所と協議する必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>ダム湖周辺を訪れる人々が快適に利用できるよう、ダム湖周辺のトイレや駐車場の管理、除草やゴミ清掃等を今後も実施する。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	ダリヤ育成事業		決算書頁	242
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます			
所管部・室・課	みどり土木部 公園緑地課	作成者	課長 釜本 雅之	

## 2. 事業の目的

ダリヤを育成し黒川ダリヤ園の知名度を高めることにより、地域の活性化を図る

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
		総事業費	16,910	17,149			△ 239	一般財源	9,720
内訳	事業費	8,139	8,388	△ 249	国県支出金		1,998	△ 1,998	
	職員人件費	8,771	8,761	10	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)	1,190		1,190	
参考	職員数(人)	1	1		特定財源(その他)	6,000		6,000	
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	ダリヤ育成事業	細事業事業費(千円)	8,139										
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助												
(2) 28年度の取組と成果	<p>黒川地域で活動する団体「黒成会」を補助し黒川ダリヤ園を開園した。 平成28年9月9日から11月6日までの開園期間中の入園者数は10,505人であった。</p> <p>黒川ダリヤ園入場者数(単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,880</td> <td>16,344</td> <td>13,996</td> <td>15,845</td> <td>10,505</td> </tr> </tbody> </table> <p>入園者の利便性向上のために、休憩テントや簡易トイレを設置し、園路をより通りやすく改良・増設した。 合わせて、受付案内所を設けて適切な案内に努めるとともに、車での来園者のために土・日・祝日にはガードマンを配置し、スムーズな駐車場の案内に努めた。</p> <p>また、同園の施設整備に向けての基礎となる用地確定のための測量委託業務を実施した。(1,749千円)</p>			H24	H25	H26	H27	H28	23,880	16,344	13,996	15,845	10,505
H24	H25	H26	H27	H28									
23,880	16,344	13,996	15,845	10,505									

平成28年度 開園中の様子



地元管理団体「黒成会」作業の様子



受付案内所の様子



## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		28年度の事業の達成状況
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		<p>天候の影響により開園時の入場者数は減少したが、地域団体の努力やメディアに取り上げられたこともあり、来場者数1万人を突破した。また、球根の収量についても、次年度への植え付けに支障ない量の球根を引き継ぐことができた。</p> <p>11月には山形県川西町から副議長ほか町議会議員6名の視察があり現地説明を行った。</p>
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○	
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。		
課題と改善について	<p>黒川ダリヤ園は高齢化が進む地域団体への補助により運営されているが、持続可能な運営体制の確立と施設整備、人材の確保が課題となっている。</p>	29年度以降における具体的な方向性について
		<p>現在使用中の用地に隣接地を加えて、境界の確定を進めるとともに、施設整備方法や運営体制の検討を進める。</p>

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	文化振興事業			決算書頁	108
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・室・課	市民生活部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

芸術文化の振興及び市民の芸術文化活動を支援する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	118,497	121,923	△ 3,426	一般財源	113,415	116,925	△ 3,510
内 事業費	100,955	104,401	△ 3,446	国県支出金			
内 職員人件費	17,542	17,522	20	地方債			
内 公債費				特定財源(都市計画税)			
参考 職員数(人)	2	2		特定財源(その他)	5,082	4,998	84
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	文化振興事業	細事業事業費(千円)	9,739								
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助										
(2) 28年度の取組と成果	<p>地域文化の向上のため、川西市文化協会、川西市吹奏楽団、川西市民合唱団に対して補助金を交付し、各関係団体が積極的に展示会や演奏会を開催できるよう活動支援を行った。</p> <p>【上記3団体の活動内容】</p> <p>文化協会・・・子ども文化フェスタ・芸術祭等を開催。所属19団体も各自で活動。 吹奏楽団・・・定期演奏会・ジョイフルコンサートを含む年間11回の行事を開催。 合唱団・・・市民合唱とオーケストラを開催。</p> <p>川西市役所1階市民課前ロビーにて、川西市出身でトロンボーン奏者の藤原功次郎氏によるミニライブを開催し、市民が気軽に音楽に触れ合える機会を提供した。</p>										
<細事業2>	文化・スポーツ振興財団支援事業	細事業事業費(千円)	86,244								
(1) 参画と協働の主な手法(実績)											
(2) 28年度の取組と成果	<p>(公財)川西市文化・スポーツ振興財団が行う次の活動に対し補助金を交付し、支援を行った。</p> <p>①市民に優れた音楽や舞台芸術の鑑賞機会を提供した。 ②地域の芸術、文化団体等の自主企画・運営による市民参画型の芸術、文化事業を実施した。</p>										
【集客率】	(単位:%)					【自己財源率】	(単位:%)				
項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
芸術、文化鑑賞事業	73.6	71.6	76.0	77.2	68.5	自己財源率(%)	36.7	31.5	33.6	34.9	30.8
育成及び援助事業	77.3	83.0	85.6	85.7	78.4	(事業収入額/総事業費額)					
合計	75.2	75.9	80.3	80.9	73.6						
(入場者数/定員)											

<細事業3>	ギャラリーかわにし運営事業	細事業事業費(千円)	3,012		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)					
(2) 28年度の取組と成果					
<p>芸術活動の発表の場を提供し、多くの市民や地域住民に優れた作品を鑑賞する機会を提供した。</p> <p>使用の範囲：美術に関するもの 使用期間：水曜日～月曜日まで</p> <p>開館時間：午前10時～午後7時まで&lt;最終日は、午後5時まで&gt;</p> <p>使用料(6日間) 第1展示室：市内利用者 60,000円 市外利用者 80,000円</p> <p>第2展示室 市内利用者 48,000円 市外利用者 64,000円</p>					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市内利用者件数	90	95	90	92	90
市外利用者件数	8	3	8	4	1
合計	98	98	98	96	91
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
年間利用可能枠数	98	98	98	100	98
利用率(%)	100	100	100	96	93
(利用者件数/年間利用可能枠数)					
<細事業4>	川西市展の実施	細事業事業費(千円)	1,960		
(1) 参画と協働の主な手法(実績) 団体等への補助					
(2) 28年度の取組と成果					
<p>文化会館・中央公民館を会場に、洋画・日本画・書・彫刻(立体造形)・工芸・写真・現代美術の7部門を設定し、1部門につき1点の作品を募集した。(対象：16歳以上)</p> <p>審査後、入選・入賞作品を展示、最終日に表彰式を行った。</p> <p>展示期間は5日間(2月7日～2月10日)</p> <p>期間中の入場者数は1,196人</p> <p>出品点数は全335点と大変盛況であった。</p> <p>出店料は、1部門につき一般1,500円</p> <p>学生(大学・高校・高等専門学校生)500円</p>					
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
洋画	78	93	83	91	90
日本画	25	32	19	21	17
書	9	15	8	12	20
彫刻・立体造形	1	7	2	5	10
工芸	21	19	13	17	16
写真	129	153	141	167	167
現代美術	11	16	17	19	15
合計	274	335	283	332	335

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>文化関係団体においては、各団体ごとに自主的な活動を行い、本市の文化振興に努められた。</p> <p>文化・スポーツ振興財団の自主事業の集客率が、前年度より7.3ポイント減少、自己財源率が4.1ポイント減少した</p> <p>ギャラリーかわにしの利用率が、前年度より3ポイント減であるが、高い利用率を維持している</p> <p>川西市展の出品点数は昨年度と横ばいである</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>文化・スポーツ振興財団の集客率について、昨年度より減少しているため、事業内容の見直し、集客率の上昇に努める。</p> <p>川西市展の文化会館閉館後の開催について、運用面を見直す必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>文化・スポーツ振興財団の自主事業については、音楽が主体となっている事業が多いが、多様化する市民のニーズに対応するため、音楽や舞台芸術だけでなく、幅広い事業を展開し、集客率の向上に努める必要がある。</p> <p>川西市展について、文化会館閉館後の運用について検討する。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	芸術文化施設維持管理事業			決算書頁	110
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・室・課	市民生活部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

芸術文化施設を効果的・効率的に管理、運営する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト				財源			
	28年度	27年度	比較		28年度	27年度	比較
総事業費	141,403	142,485	△ 1,082	一般財源	101,863	101,656	207
内 事業費	137,752	140,555	△ 2,803	国県支出金			
内 職員人件費				地方債			
内 公債費	3,651	1,930	1,721	特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)	39,540	40,829	△ 1,289
職員数(人)							
再任用職員数(人)							

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	芸術文化施設維持管理事業	細事業事業費(千円)	137,752				
(1) 参画と協働の主な手法(実績)							
(2) 28年度の取組と成果	<p>芸術文化施設(文化会館・みつなかホール)の適正な維持管理に努めるとともに、市民が快適に使用できるように環境を整えた。</p> <p>28年度に実施した修繕</p> <table border="1"> <tr> <td>文化会館</td> <td>屋外、外灯ランプ取替修繕 消防用設備機器改修工事</td> </tr> <tr> <td>みつなかホール</td> <td>火災通報装置設置工事 スプリンクラー設備修繕 非常照明器具修繕 ワイヤレスマイク修理</td> </tr> </table> <p>芸術文化施設の維持管理については、公益財団法人 川西市文化・スポーツ振興財団が行った。</p>			文化会館	屋外、外灯ランプ取替修繕 消防用設備機器改修工事	みつなかホール	火災通報装置設置工事 スプリンクラー設備修繕 非常照明器具修繕 ワイヤレスマイク修理
文化会館	屋外、外灯ランプ取替修繕 消防用設備機器改修工事						
みつなかホール	火災通報装置設置工事 スプリンクラー設備修繕 非常照明器具修繕 ワイヤレスマイク修理						
【施設使用料収入】	(単位:千円)						
項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
文化会館	12,131	14,054	14,239	14,117	14,896		
みつなかホール	25,253	24,662	24,883	24,095	23,248		
計	37,384	38,716	39,122	38,212	38,144		
【指定管理料】	(単位:千円)						
項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
文化会館	36,284	37,093	40,408	41,945	41,556		
みつなかホール	72,688	75,655	75,936	75,181	73,103		
計	108,972	112,748	116,344	117,126	114,659		

【施設利用率(%)】

(文化会館)

施設名	27年度	28年度	施設名	27年度	28年度
大ホール	64.8	67.4	和室1 *	0.0	0.0
大集会室 *	32.0	32.8	和室2 *	16.2	20.1
レセプションルーム	31.0	27.7	講座室 *	13.9	19.8
第1会議室 *	23.3	22.9	調理室 *	7.2	6.7
第2会議室 *	16.6	19.0	第1文化セミナー室	58.6	57.9
第3会議室 *	20.7	19.9	第2文化セミナー室	41.1	35.4
第4会議室 *	68.9	72.9	第3文化セミナー室	92.2	93.9
第5会議室 *	65.5	57.7	第4文化セミナー室	90.5	91.1
			スタジオ	69.5	70.9

\* 大集会室、第1～第5会議室、和室1・2、講座室及び調理室は中央公民館との複合施設のため、公民館として利用のない部分での利用状況

(みつなかホール)

施設名	27年度	28年度
ホール	72.0	72.7
文化サロン	87.1	85.6
第1セミナー室	76.2	66.4
第2セミナー室	83.3	81.0
第1スタジオ	91.6	93.0
第2スタジオ	98.0	98.3

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>各施設のホール使用率について、文化会館大ホールは2.6%増、みつなかホールは0.7%増と、昨年度とほぼ横ばいである。</p> <p>利用者が安全、且つ快適に使用できるよう各施設の修繕を行った。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>みつなかホールについて、市内外に広く情報を発信し、更なる使用率の向上を図る必要がある。</p> <p>みつなかホールは設備や機器等の経年劣化が進んでいるため、計画的な修繕を行う。</p> <p>複合施設運用開始に向けて、適切な準備を行う必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>複合施設の平成30年度からの運用開始に向けて、関係各所と協議し、施設利用料や予約方法等の運営面の整備を進める。また、使用者及び各関係団体へ今後の運用方法についての研修会を実施する。</p> <p>文化会館の閉館時期について、関係各所と協議し、使用者に対して迅速に通知できるよう検討を進める。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ推進事業			決算書頁	120
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・室・課	市民生活部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりを進める
--------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	28,663	28,733	△ 70	一般財源	27,317	28,733	△ 1,416	
	事業費	11,121	11,211	△ 90	国県支出金				
	職員人件費	17,542	17,522	20	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	2	2		特定財源(その他)	1,346		1,346	
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	生涯スポーツ推進事業	細事業事業費(千円)	7,893		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助			
(2) 28年度の取組と成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校体育施設の開放 小学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲で校区内住民によるスポーツ団体に開放し、活動の拠点とした。老若男女を問わず、多くの市民が小学校体育施設を利用してスポーツ活動を行った。</li> </ul>					
小学校体育施設開放利用者数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
学校体育施設利用者(人)	268,809	246,664	257,611	245,743	234,362
プール開放利用者数(人)	25,063	23,461	22,795	20,780	22,266
<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツクラブ21ひょうご」事業の推進 小学校区ごとに組織されたスポーツクラブ21の運営を支援し、生涯スポーツの振興を図った。</li> </ul>					
会員数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
スポーツクラブ21会員数(人)	6,100	6,074	6,084	5,934	5,893
<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員の活動、生涯スポーツの普及 月1回定例会の開催のほか、資質の向上のため、阪神北地区及び兵庫県のスポート推進委員研修会に参加した。スポーツ推進委員と協力し、子供から高齢者まで楽しく参加できるレクリエーションスポーツ大会を開催した。</li> </ul>					
レクリエーションスポーツ大会参加者数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
カローリング大会等(3回合計・人)	246	264	261	279	312
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツ指導者の養成 生涯スポーツの普及に欠かせない指導者の養成と資質の向上のため、生涯スポーツ指導者研修会を開催した。</li> </ul>					
生涯スポーツ指導者研修会	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
研修会参加者数(人)	41	40	39	40	43
参加者の平均年齢(歳)	60	60	60	60	60

<細事業2>	一庫ダム周遊マラソン大会開催支援事業	細事業事業費(千円)	3,228																								
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助																									
(2) 28年度の取組と成果																											
<p>・川西一庫ダム周遊マラソン大会の開催</p> <p>生涯スポーツ及び競技スポーツの普及の一環として、誰もが体力や年齢に応じて参加できる市民マラソン大会を開催した。</p> <p>小学生から高齢者まで幅広い世代が参加し、川西市の秋の一大イベントとして盛り上がりを見せた。26年度よりランナーの安全確保等のため参加定員を3,000名とした(ただし、事務手続上やむをえず多少の超過が発生する)。</p> <p>28年度は、スポーツ振興くじ助成対象事業として、助成金を確保した。</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>2,556</td> <td>3,355</td> <td>3,153</td> <td>3,004</td> <td>2,899</td> </tr> <tr> <td>うち川西市民数(人)</td> <td>1,332</td> <td>1,150</td> <td>1,192</td> <td>1,197</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>川西市民の参加割合(%)</td> <td>52</td> <td>34</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>				川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	参加者数(人)	2,556	3,355	3,153	3,004	2,899	うち川西市民数(人)	1,332	1,150	1,192	1,197	1,128	川西市民の参加割合(%)	52	34	38	40	39
川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																						
参加者数(人)	2,556	3,355	3,153	3,004	2,899																						
うち川西市民数(人)	1,332	1,150	1,192	1,197	1,128																						
川西市民の参加割合(%)	52	34	38	40	39																						

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>スポーツ推進委員及びスポーツクラブ21と協働して、スポーツを通じた地域の交流の場を確保した。こどもから高齢者まで気軽に楽しめるレクリエーションスポーツ大会では、過去5年間で最大の計312名が参加した。</p> <p>川西一庫ダム周遊マラソン大会では、日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじの助成を受け、財源の確保を行った。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>スポーツクラブ21は、ここ数年会員数が減少傾向にある。継続的にクラブ運営を行っていくため各クラブの会員数および財源の確保が重要課題である。</p> <p>他大会の開催日の兼ね合いもあり、川西一庫ダム周遊マラソン大会の参加者数が若干落ち込んでいるため、今後参加者の確保が重要となってくる。</p> <p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>スポーツ推進委員及びスポーツクラブ21と協働して、レクリエーションスポーツがより多くの市民に親しまれるよう、引き続きイベントの開催や備品の貸出などを行い、スポーツの推進を図る。</p> <p>川西一庫ダム周遊マラソン大会では、参加者および応援者が安全に楽しめるよう企画・運営を行う。また、スポーツ振興くじ助成金を継続的に有効活用し、大会運営の推進を図る。</p>						

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	競技スポーツ推進事業			決算書頁	120
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・室・課	市民生活部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

スポーツ団体の自主的活動を支援し、団体を育成するとともに競技力を向上させる

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	13,385	12,885	500	一般財源	13,385	12,885	500	
	事業費	4,614	4,124	490	国県支出金				
	職員人件費	8,771	8,761	10	地方債				
	公債費				特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	1	1		特定財源(その他)				
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	競技スポーツ推進事業	細事業事業費(千円)	4,614																																																																														
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																																																																
(2) 28年度の取組と成果	<p>・スポーツ団体への支援</p> <p>川西市体育協会や川西市スポーツ少年団等の自主活動を支援し、競技スポーツ団体の育成と競争力の向上を図った。</p> <p>加盟団体数 (単位:団体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川西市体育協会</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>川西市スポーツ少年団</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>団体会員数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川西市体育協会</td> <td>14,609</td> <td>15,351</td> <td>13,792</td> <td>13,506</td> <td>12,758</td> </tr> <tr> <td>川西市スポーツ少年団</td> <td>1,084</td> <td>1,071</td> <td>1,035</td> <td>905</td> <td>889</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全国大会等出場者への激励</p> <p>予選を経て国際大会や全国規模のスポーツ大会に出場する全市民を対象に、激励金を支出した。</p> <p>全国大会等出場激励金支給者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリンピック</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>アジア大会等</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国際大会</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>国民体育大会</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>全国大会等</td> <td>30</td> <td>64</td> <td>71</td> <td>64</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30</td> <td>70</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	川西市体育協会	30	30	30	30	30	川西市スポーツ少年団	25	24	25	25	24		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	川西市体育協会	14,609	15,351	13,792	13,506	12,758	川西市スポーツ少年団	1,084	1,071	1,035	905	889		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	オリンピック	0	0	0	0	0	アジア大会等	0	2	0	0	0	国際大会	0	0	1	1	1	国民体育大会	0	4	4	5	4	全国大会等	30	64	71	64	102	合計	30	70	76	70	107
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																																																																												
川西市体育協会	30	30	30	30	30																																																																												
川西市スポーツ少年団	25	24	25	25	24																																																																												
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																																																																												
川西市体育協会	14,609	15,351	13,792	13,506	12,758																																																																												
川西市スポーツ少年団	1,084	1,071	1,035	905	889																																																																												
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度																																																																												
オリンピック	0	0	0	0	0																																																																												
アジア大会等	0	2	0	0	0																																																																												
国際大会	0	0	1	1	1																																																																												
国民体育大会	0	4	4	5	4																																																																												
全国大会等	30	64	71	64	102																																																																												
合計	30	70	76	70	107																																																																												

・広域スポーツ大会（当番市大会）への助成

阪神間または県下の大会を川西市で開催する団体に対して、大会運営に伴う運営費の一部を助成した。

広域スポーツ大会（当番市大会）開催件数

（単位：件）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
開催件数	1	4	3	0	3

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>スポーツ団体の自主的活動への支援を行うことで、各団体の円滑な運営、及び各競技選手の活動の場づくりに貢献した。阪神間または県下の大会を川西市で開催する3団体に対して、大会運営に伴う運営費の一部を助成を行った。</p> <p>また、全国大会等出場激励金については、広く周知することで、過去5年間で最大の107件の支給があり、市民の今後の活躍を激励した。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>体育協会及びスポーツ少年団の会員数が年々減少傾向にある。スポーツ少年団は28年度に1団体除籍したこともあり、28年度の会員数が900人を下回った。競技スポーツを行う市民がより活動しやすい環境を作れるよう、引き続きスポーツ団体の支援を行う必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>今後も、より多くの市民に激励制度の周知を行い、対象者に、その活躍を称え、激励する。</p> <p>また、広報誌等でスポーツ団体の教室や大会の開催等について紹介し、周知に協力することで、活動の場を探す市民とスポーツ団体のマッチングを図る。</p> <p>29年度は、日独スポーツ少年団交流事業にて、本市にドイツ団を招き交流を図る。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	スポーツ施設管理運営事業			決算書頁	122
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・室・課	市民生活部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 西川 明宏	

## 2. 事業の目的

<b>社会体育施設及び東久代運動公園を適切に維持管理・運営する</b>
-------------------------------------

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		28年度	27年度	比較	財源		28年度	27年度	比較
内訳	総事業費	331,699	290,593	41,106	一般財源	257,919	237,513	20,406	
	事業費	318,574	287,098	31,476	国県支出金				
	職員人件費				地方債	6,200		6,200	
	公債費	13,125	3,495	9,630	特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)				特定財源(その他)	67,580	53,080	14,500	
	再任用職員数(人)								

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	スポーツ施設維持管理事業	細事業事業費(千円)	318,574		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託				
(2) 28年度の取組と成果	<p>・(公財)川西市文化・スポーツ振興財団への支援とPFI業者への委託 社会体育施設等の維持管理を行い、また市民を対象とした各種スポーツ教室等を開催する、指定管理者の(公財)川西市文化・スポーツ振興財団を支援した。 また、PFI業者へ、社会体育施設(市民体育館・市民運動場)の維持管理・運営の事業委託を行った。</p>				
施設の使用者数		(単位:人)			
施設名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総合体育館	191,951	194,810	191,687	202,628	198,671
市民体育館	57,335	56,865	57,788	58,541	77,105
市民運動場	72,498	69,251	76,270	51,848	66,357
市民温水プール	97,958	96,112	98,517	89,279	102,683
東久代運動公園	82,560	41,141	16,143	84,048	102,983
合計	502,302	458,179	440,405	486,344	547,799
主な施設の使用率(施設使用時間÷施設使用可能時間)		(単位:%)			
施設名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総合体育館第1体育室	88.7	88.6	88.1	88.2	88.5
市民体育館主競技場	77.4	77.2	78.0	80.3	85.8
市民運動場	75.8	75.4	79.4	77.9	70.5
東久代運動公園(野球場)	32.0	30.1	31.2	32.5	30.5
市民運動場テニスコート	81.0	80.2	84.5	83.7	82.5
東久代運動公園テニスコート	34.7	30.1	16.9	21.8	19.0

・社会体育施設等の維持管理

社会体育施設（総合体育館、弓道場、市民温水プール）及び東久代運動公園の適切な維持管理に努めるとともに、市民が安全で快適に使用できるように環境を整えた。

28年度に実施した施設の主な修繕 (単位:円)

細 節	件 名	金 額
総合体育館	第2武道室床修繕	2,624,400
	電話設備修繕	694,148
	ガス配管修繕	24,742
	屋上機械室鉄扉修繕	439,560
	武道室鉄扉修繕	330,480
市民温水プール	事務所空調機改修	524,880
	事務所ビジネスホン修繕	400,383
	男女更衣室ファンコイル修繕	1,036,800
	プールロボット修理	397,818
	消火ポンプ修繕	3,185,352
	冷温水発生機圧縮機修繕	540,000
東久代運動公園	階段修繕	259,200

・ P F I での市民体育館の建て替え工事が完了し、8月に新築オープンした。

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価		28年度の事業の達成状況					
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○	市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。		<p>各社会体育施設の老朽化に伴って、計画的に修繕等を行った。</p> <p>市民体育館の建て替えを行い、8月に新築オープンした。</p> <p>社会体育施設の指定管理者が28年度より2団体となったため、情報共有を行うため、定期的に市を含めた3者協議を行った。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	○						
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。							
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>各社会体育施設については、引き続き利用者の安全面を第一に考慮した改修を計画的に行う必要がある。</p> <p>施設ごとに利用者への対応が異なるように、指定管理者である2団体がより密に連携を図る必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>老朽化に伴う修繕を今後とも計画的実施し、また緊急修繕等についても機動的に対応していく。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	アステ市民プラザ運営事業		決算書頁	124
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			
所管部・室・課	市民生活部	アステ市民プラザ	作成者	所長 中西 康藏

## 2. 事業の目的

アステ市民プラザの利用者が快適に過ごせるよう施設を運営する

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト				財源			
	28年度	27年度	比較		28年度	27年度	比較
総事業費	135,862	83,820	52,042	一般財源	115,319	65,096	50,223
内 事業費	51,231	49,439	1,792	国県支出金			
職員人件費	30,552	30,244	308	地方債			
公債費	54,079	4,137	49,942	特定財源(都市計画税)			
参考				特定財源(その他)	20,543	18,724	1,819
職員数(人)	3	3					
再任用職員数(人)	1	1					

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	アステ市民プラザ運営事業	細事業事業費(千円)	51,231																																												
(1) 参画と協働の主な手法(実績)																																															
(2) 28年度の取組と成果	<p>・アステ市民プラザの適正な維持管理に努めるとともに、貸室を市民が快適に使用できるよう環境を整えた。</p> <p>【施設使用料収入】 (円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アステ市民プラザ</td> <td>10,797,040</td> <td>16,352,860</td> <td>17,773,180</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施設利用率(%)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アステホール</td> <td>80.2</td> <td>83.1</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td>マルチスペース1</td> <td>70.9</td> <td>81.9</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>マルチスペース2</td> <td>76.4</td> <td>86.9</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>ルーム1</td> <td>44.7</td> <td>63.6</td> <td>79.7</td> </tr> <tr> <td>ルーム2</td> <td>35.9</td> <td>58.3</td> <td>66.9</td> </tr> <tr> <td>ルーム3</td> <td>75.5</td> <td>90.0</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>ルーム4</td> <td>46.8</td> <td>75.0</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>子育て支援ルーム</td> <td>98.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	アステ市民プラザ	10,797,040	16,352,860	17,773,180	施設名	26年度	27年度	28年度	アステホール	80.2	83.1	90.3	マルチスペース1	70.9	81.9	93.6	マルチスペース2	76.4	86.9	92.5	ルーム1	44.7	63.6	79.7	ルーム2	35.9	58.3	66.9	ルーム3	75.5	90.0	96.4	ルーム4	46.8	75.0	88.6	子育て支援ルーム	98.7	100.0	100.0
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																												
アステ市民プラザ	10,797,040	16,352,860	17,773,180																																												
施設名	26年度	27年度	28年度																																												
アステホール	80.2	83.1	90.3																																												
マルチスペース1	70.9	81.9	93.6																																												
マルチスペース2	76.4	86.9	92.5																																												
ルーム1	44.7	63.6	79.7																																												
ルーム2	35.9	58.3	66.9																																												
ルーム3	75.5	90.0	96.4																																												
ルーム4	46.8	75.0	88.6																																												
子育て支援ルーム	98.7	100.0	100.0																																												

・アステギャラリーを文化芸術活動の発表の場として提供するとともに、市民が多くの優れた作品に触れる機会を提供した。

使用の範囲：美術に関するもの

使用期間：水曜日～月曜日まで

開館時間：午前10時～午後7時まで〈最終日は午後5時まで〉

使用料（6日間） 市内利用者 48,000円 市外利用者 64,000円

アステギャラリー	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者件数	9	18	23
利用率(%)	28	35	45
年間利用可能件数	32	51	51

・住民票、印鑑登録証明、課税証明等、各種証明書の正確かつ迅速な交付を行った。

証明書等発行枚数(枚)		26年度	27年度	28年度
内 訳	住民票関連	1,877	3,592	3,976
	印鑑登録証明書	1,295	2,215	2,752
	課税等証明書	342	1,046	1,412
	合計	3,514	6,853	8,140

## 5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p><b>28年度の事業の達成状況</b></p> <p>貸館利用者の利便性の向上と住民票等の証明書の発行を夜間、休日も行い、市民の利便性の向上を図った。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p><b>課題と改善について</b></p> <p>アステホールやマルチスペースなどの主要な貸室は利用率が高いが、アステギャラリーについては、昨年度より利用率は向上しているものの、他の貸室と比較すると低い水準であるので、更に周知・PRに努める必要がある。</p>	<p><b>29年度以降における具体的な方向性について</b></p> <p>貸館利用者の利便性の向上とともに、住民票等の証明書の発行を夜間、休日を含めて引き続き行っていく。</p> <p>アステギャラリーについては、昨年度までよりも利用率が向上しているものの、他の貸室と同様の利用率になるよう更に広報、啓発に努め利用促進を図っていく。</p>						
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>							